

伊賀川豊彦氏ノ友愛會ヲ近來頻頻ニイテ甲議ヲ惹起セムルヲ
不得策トナシ殊ニ今社ノ向大々月現至職工ノ解雇ヲ行ハ
サルヲ保障スルニ於テハ要求書提出ハ當分之中止スベトノ
意思嚮テ有シ廿八日夜十一時頃敷津工場所長ヲ自宅ニ訪問
シ右意嚮ヲ通シタルモ時既ニ職工代表者ハ件ノ要求書ヲ
提出シ引取り約一時ヨリ経過セル後ニシテ時機ヲ失ヒタル同
人リ之ヲ断念シ其後本件ニ介入スルヲ避ケ居リ而シテ會社ハ
今更ノ要求ニ對シ稟議ヲ遂ケ高安協トテ其見スルハ六月
一日午後七時ヨリ大坂市西區新山屋町本工場事務所樓上
ニ職工側代表者杉林三男、牛田保外四名ヲ招致シ會社側ヨリ
所長永田三四郎及顧問前野共ニ職工之會々談セリ席
上先ツ職工側ヨリ要求書口提出事由ヲ各項ニ亘リ逐次説
明シ次ニ會社側ニ於テ其経営ノ現状及要求書各項ノ説明

ヲ加ヘ本要求書ハ大体ニ於ケテ之ヲ承認シ其意嚮ヲ快シタルモ
一ノ項(團體交渉権ノ確認)及二ノ項(解雇手續之煩ノ件)
ニ於テ行詰リ此召會社ハ職工側ノ肚裡ヲ探シント日助ノタル
カ職工側ハ一ノ項ハ以テ客漠然タルモノナルヲ以テ一應之ヲ美
認セラシメタルト主張シ又會社ハ六ノ項要求ヲ過大ナリトシテ
之カ金額ノ明シヲ避ケ結局此ノ二項ハ何等決定スルニ至
ラスサレド表面極メテ円滑ニ談笑シ隔ノ意ナク會談ヲ交ヘ
二日午前二時ニ至リ散會セリ
職工側ハ二日平常通り出勤シタルカ朝未「カミソ」穴明部
ノ職工約百五十名ハ怠業状態ニ陥リ續イテ二日午ヨリ殆トド
全部怠業状態ニテ四時ヨリ候テリ然ルニ會社ハ二日午
ヨリ職工側實行ノ本女員十八名ト其事務所ノ會見シ左
段田等ヲ其ハ要求事項ノ大部分ヲ容認セルモ其主要